



東新部部報

2022-2023 年度 東新部部長方針・活動計画



2022-2023 年度部長 深尾香子 (東京多摩みなみ)

主題 ALL 東新部、始動!

「Change! 2022 ラストスパート、ポスト 2022 始動」

活動方針 我が東新部は東日本区の中での「最長老部」です。しかし、長い歴史を持つ組織が時流に乗って大胆な行動改革を行い、その理念を次の時代に受け継いでいくように、私たちも信念を持って行動したいと思います。

1 クラブでは難しいと思われる事にはクラブ同士が互いに支え合って挑戦し、国際的な交流団体・奉仕団体として「他の部のお手本」となるべく活動し、年齢を重ねていても、胸を張って、朗らかに過ごす姿を見せることで、新しい仲間の獲得を目指しましょう。今年度は、区全体で「会員増強」をめざした大きな取り組みである Change! 2022 が最終年に当たりますが、これは終わることの無い大命題です。新たにポスト 2022! という考えのもと、続けて行動を起こして行きましょう。

活動計画 (リアルまたはオンライン開催)

1. 東新部会長会の開催
2. メネットとワイズウィメンによる交流会
3. ワイズ理解の促進 (友の会、広義会員など)
4. プロボノ発掘 (新たな連携への調査、研究)
5. CS、Y サ事業の精査
6. Y's×SDGs Youth Action2022 への協力
7. 部大会開催 (別紙)
8. 地域団体との人脈構築～広報活動へ
9. 学び①ひとりひとりに合わせたスキルアップ
10. 学び②災害時の身の処し方
11. ワイズ 100 周年、東西日本区 25 周年記念 第 3 回東西日本区交流会 (2023/2/4～5 ANA クラウンプラザホテル神戸) に参加しよう。

行事予定

(リアルまたはオンライン開催)

◇部大会

2022年10月8日(土)

◇評議会

2022年7月23日(土) 第1回

2022年11月26日(土) 第2回

2023年4月22日(土) 第3回

& 次期クラブ役員研修会

「最大の罪は大多数が傍観することだ」

東日本区理事 佐藤 重良（甲府21）



コロナ禍の中、ワイズメンズクラブ活動も、ここ2年間活動を縮小せざるを得ない状況が続いております。今後ニューノーマル（新たな変化）が起きてくるものと想像されます。私達は多くの課題を抱えておりますが、特に会員の減少が続いており、最大の課題です。何としても会員の減少に歯止めをかけ増強をしなければなりません。満足の出来る奉仕活動をするためには、ある程度のクラブ会員数（1クラブ15名以上）が必要です。東新部は現在82名ですが13年前の2009年は174名でした。東日本区第3位と多かった時もありました。なぜ急落したのでしょうか。東日本区は何年も前から、会員増強活動をしていますが、毎年平均20名ずつ減少して、歯止めがかかりません。ある牧師のことは「最大の罪は大多数が傍観することだ」と言われました。今年は新たな100年の出発点に立つとき、東新部の全員が「最長老部」のメリットを最大限に活かし、会員獲得のための情熱的活動を未来に向けて今すぐに行動しましょう。

「善意と良心の団体」

東京YMCA 総主事 菅谷 淳（東京）



先日テレビで、降参したロシア兵士がウクライナの住民によって優しく労われる映像が流れました。若いロシア軍兵士が武器を捨てた後、住民からパンと紅茶を分けてもらったり、別の兵士はロシアにいる家族とテレビ電話をつないでもらい、画面に母親が現れると涙を流しました。「この若者たちは、なぜここに来たのかも知らない」。そう言ってウクライナの住人たちも涙を拭きました。

誰かが勝手に決めた敵と味方という境界線、そして、いつの間にか植え付けられた謂れない恨みや憎しみ。これらは、見返りを求めない善意や誰かを助けたいという人の良心に触れた時、涙とともに流れ去っていくものなのだと思います。ワイズメンズクラブもYMCAも国際的な奉仕団体です。それは単に世界に数多くある団体ということではなく、世界中の同志たちと協力し人々の善意や良心を鼓舞することで平和を作る運動を展開する団体ということだと思います。その同志を集めるための会員増強ではないでしょうか。私たち一人の力は微力でも、決して無力ではないことを信じて共に歩んでいきたいと思えます。

「繋がり」と架け橋」

在日本韓国YMCA 総務 朱 幸 亨



愛に溢れる主の内において、親睦と教養を広げながら時代の課題と変化に対し、順応する能力に激励と拍手をお送りします。そして「東新部」会員たちの豊かで大切な経験と知恵がYMCAユースたちへまっとうに受け継がれ、社会を革新しリードする原動力に生かされることを願います。特に韓日ワイズメンズクラブの交流を通し「繋がり」、民間外交使節団として多文化共生社会の実現と韓日友好の動きがより一層成熟することを願い、たとえ小さき力だとしても未来志向的で一緒に発展する「架け橋」の役割のために努めていきます。コロナ危機を常に健康のまま克服され、予定された事業に主の恵みが共にあり、この社会へ大きく貢献なされますことを祈念いたします。ご配慮とご協力に感謝し、「東新部」の恒久的発展、会員皆さまのご健康とご多幸をお祈りいたします。カムサハムニダ。

「何事にも時があり」

次期部長 今井 武彦（東京むかでクラブ）



既に決まっていた次期東新部部長候補城井さんが、体調不良のため降板し、急遽、代りの候補として評議会選挙で選出されました。

このような経緯ゆえに、次期部長としての抱負も定まらない中であります。旧約聖書の「コヘレトの言葉」の中に「何事にも時があり」という一節を思い出します。今が私にとって“その時”であると。

私たちを取り巻く環境は、日々変化しています。部長方針が示され、各クラブは活動方針を定めて、運営がなされております。部長方針と各クラブ活動との整合性を意識しながら次年度への準備をしたいと思っております。この1年は、むかでクラブの会長も兼務いたしますのでよろしくお願いいたします。

「新しい東新部へ」

直前部長 松香 光夫（東京町田コスモス）



歴史と伝統にそれぞれ特色のある7つのクラブからなる東新部の活動は、それぞれが特色を持ち、それだけに独自の課題を抱えている。共通の課題はクラブメンバーの高齢化と減少傾向、自身にとっての活動の負担である。

折しもコロナ禍にあつてのデジタル化への対応も要求されている。

その中で、新しいクラブの創成を企図しているが、ことの次第はそう簡単ではない。引き続き努力を傾けねばならないが、新設のクラブのあるべき姿が、既存のクラブにとっても良い刺激になることを望んで次期の東新部に引き継ぐことになる。

100年の歴史をもつワイズメンズクラブにとっても新しいあり方を模索してほしい。

「リアルと Zoom の二刀流」

書記 伊藤 幾夫（東京多摩みなみクラブ）



いよいよ深尾部長の船出です。楽しみです。コロナも少しずつ収まってきたように思われます。油断は禁物ですが、2年ぶりにリアルな会合ができそうです。この2年間、コロナ

感染防止のために、対面式の会合がほとんどできませんでした。やはり、ワイズの魅力のひとつは対面式での親交だと思います。今年度は、リアルの会合を基本として、オンライン（Zoom）でも対応できる「二刀流」の交わりができそうです。コロナ禍でワイズ活動も停滞を余儀なくされましたが、得たものとして、オンライン会議（Zoom）の習得あります。これよって、私たちは、時間、距離といったハードルをいとも簡単に超えることができるようになりました。「新しい会合のカタチ」を最大限に生かして、もっともっとワイズの魅力をシェアしていきましょう。

「微力ながらお役に」

会計 綿引 康司（東京多摩みなみ）



深尾部長とはクラブチャーター以来のお付き合いです。部長が多彩な発想力と温かいボランティア精神を今度は東新部で発揮されると伺い、私も微力ながらお役に立ちたいと思い、

部会計をお引き受けしました。深尾部長の活動方針を拝見すると、深尾イズムに基く新しい取組みが示されており、そこにワイズ活性化の戦略を垣間見ることができます。間違いなく各クラブが抱える課題を新たな発想で好循環へと導いてくれることでしょう。私も会計という立場で深尾部長を支えるとともに、皆様からの貴重な部費をしっかりと管理して東新部の皆様に貢献したいと思っております。どうぞ1年間、よろしくお願いいたします。

「あわてずにゆっくりと」

監事 佐藤 茂美（東京）



新型コロナ禍はまだ落ち着いていませんが、世の中が大変むずかしい時、深尾香子部長をはじめ、主査の役目をお引き受けくださった皆様に感謝しています。今年度も部の監事を引き受けることになりました。

どうぞ、よろしく。

新年度の部長は、奉仕の軸を年齢、体裁にかかわりなく朗らかに行動していこうではないかとおっしゃっています。その前向きなお気持ちに私は拍手を送ります。YMCA・地域の奉仕にジェンダー、経験は問いません。昨年度のCS活動主任の聡明な御姿から、ときには優しい語り口に、私はホッとしています。

ワイズメンの働きは多様です。世界的に、地域的に奉仕の場は、まだまだ未知数ですが、人脈などの交わりを大切にして、東新部を盛り上げていきたいと思っています。リアル会合は、まだ先のことでしょうか？皆様、どうぞ御体を大切に。

「新しいリーダー」

監事 小川 圭一（東京世田谷）



想定外のコロナ禍の中ですが、深尾香子さんという新しいリーダーを担いで、知恵と勇気とチームワークで前進させましょう。

「協働を創ろう」

CS・YMCA サービス事業主査

今村 るか（東京町田コスモス）



東京町田コスモスでは子供を対象にしたわくわく科学実験教室や主に高齢者の方を対象にしたベテランティアや地域の皆さんを対象にした歌声ひろばをはじめ、震災復興支援に障がい者施設の支援など行っています。

地元のボランティアセンターにも登録し、運営に協力したり、地域の夏祭りにも出店したりしてきました。事業を継続することは大変なこともありますが、こうした活動はワイズメンズクラブやYMCAを知っていただく良い機会になります。それぞれのクラブの活動を互いに理解し、更にワイズメンの得意なことなどを共有し、ワイズメンズクラブが地域で一層活躍し認知していただけるよう、皆さまと共に地域の方々と協力し働ける環境を創れたらと考えています。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

「会員増強に努めたい」

会員増強事業主査 加藤 義孝（東京）



東新部はここ2年間において会員数が91名から81名に減少しています。そして年々平均年齢が上がって後期高齢者が過半数となっています。東日本区の会員増強目標は

1246名でしたがこれはコロナ禍の前に考えた目標であり、この時の東新部目標は179名で現在81名ですから、増強会員数は98名となります。そこで深尾部長の方針は「ポスト Change! 2022」が必要とのお考えです。この事を考えますと目標年度を延長せざるを得ないと思います。会員増強主査の方針としては以下の2項目を提唱し目標としたいと思います。

1. 各クラブの現在会員数を厳守する事
2. 新クラブ設立に協力し交流を図る

「国際・交流部門の2022年の方針」

国際・交流事業主査

為我井 輝忠（東京町田スマイリング）



国際と国内が一緒になった部門は活動範囲が広すぎ、どこに重点を置いたらよいか分からない位ですが、まずはこれまでの継続と新規のプランを考えてみたいと思います。

これまで取り組んで諸事業はもちろんのこと、さらにウクライナやミャンマー、アフガニスタンに対する関心の喚起と募金を進めていきたいです。

国内面では、東京足立区でユースが主体となって外国人支援活動をしている「NPO 法人メタノイア」への協同活動とアフガニスタンの子どもたちへのランドセルを贈る「思い出のランドセル」活動への情宣（PR）活動をより進めていきたいと考えています。

「ユースとの架け橋」

ユース事業主査

城田 教寛（東京町田スマイリング）



引き続きユース事業主査をさせていただきます。昨年度は、コロナ禍で“リアル”にユースたちと交流ができなかったことが悔やまれます。そして、AYC 及び YVLF（オンライン）に参加してみて気づいたこと、東新部では、ワ

イズメンバーとの関わりが上記イベントしかなく極端に少ないこともわかり、今年度は目標でもある“ユースとの架け橋”として、少しでも多く関わってきたい。その一環として、ユースリーダーについての現状把握・理解、ユースリーダーとの交流がある深尾部長との協力、部内ユース出身者の卓話、YMCA（横浜など）や各大学（中央大学 清泉女子大学 立教大学など）訪問、現状の把握を図りたい。また、Y's×SDGs Youth Action に参加された、外国にルーツをもつ子どもたちへの支援活動をしている NPO 法人メタノイアとのコラボ、サポートをしていきたい。

「初心に還って、ユースの声に耳を傾けよう！」

第26回部大会実行委員長

加藤 義孝（東京）



私たちの東新部を元気にしてきた大きなイベントの一つは部大会でもあります。第26回部大会はリアル開催を予定し、元気を取り戻したいと思います。

SDGsにも唱われています「誰一人取り残さない」というテーマを、東新部においても「誰も取り残さない学習会」と深尾部長はアレンジし、子供の学習やサポートを注目したいと熱い思いを伝える部大会にしたいと願っています。

そして海外からの避難者に女性や子供達が多くいることも私達の支援が求められているのではないかと現場からの状況から学びたいとプログラムをセットしております。避難民の大きな問題として1. 言葉の壁 2. 心の壁 3. 生活のスタイルなど色々な問題とともに考え、私達の出来る事は何かを見いだす部大会としたいと思います。是非ご参加をお願いします。

日時：2022年10月8日（土）13：30～16：00

場所：在日本韓国 YMCA 青少年センター国際ホール

「東新部の歴史を書き残す？」

ヒストリアン 伊丹 一之（東京むかで）



私が学生時代に使っていた三省堂のコンサイス英和辞典で、改めて「ヒストリアン」を引きましたら、「歴史家、史学者」とありました。

東新部のヒストリアンは、自ら歴史を記述するのではなく、その年度に発行された「部報」「部長通信」「評議会資料」「クラブの周年記念誌」などを収集保管することで、歴史を積み重ねていくこととなります。さらに昨年度から、東新部発足以降の「部役員一覧表」「クラブ役員一覧表」の作成に取り掛かっています。出来上がりましたら、東新部のホームページにアップして、会員の皆様にも資料として役立てていただけるようにしたいと思っております。

「東新部ホームページ&メールの活用を！」 部ウェブマスター 長澤 山泰 (東京)



■HP (ホームページ)
部大会、評議会等各行事予定&写真掲載を始め、各クラブのブリテンが発行されるとブリテンリンク先一覧に追加しています。また運営マニュアル、規則、CS支援金申請書などの各種フォームにも対応しております。

<HP構成>

- ・部長のひとこと&アピール (メルマガ、部長メッセージ等)
- ・クラブ会長&クラブ役員リスト
- ・事業主査からの連絡&アピール
- ・各クラブブリテン一覧表 (バックナンバー掲載)
- ・各種フォーム (部規定集、運営マニュアル、評議会出欠届、委任状、議案提出書等)
- ・部カレンダー (部行事、クラブ例会等)
- ・部掲示板 (例会・行事等の情報他)

■ML (2022-23年度版メーリングリスト)

ML利用の際は宛先に自分のアドレス、CCに下記のMLアドレスを入力してご利用ください。

◆部常任役員：bu2022ysjonin@jep.org
(送信先：部長・書記・会計・直前部長・次期部長)

◆部役員：bu2022ysyakuin@jep.org
(送信先：部長・書記・会計・直前部長・次期部長・地域奉仕事業主査・会員増強事業主査・国際交流事業主査・ユース事業主査・

部担当主事・部会実行委員長・部選出代議員・部ウェブマスター・部ヒストリアン・部LT委員長・部メネット連絡員・部監事)

◆クラブ会長：bu2022yskaicho@jep.org (送信先：部役員及びクラブ会長)

HPと部内MLの活用を是非ともお願いします。

「持続可能な東新部運営を！」

LT委員長 伊藤 幾夫 (東京多摩みなみ)



LT委員会は「持続可能な東新部運営をする」ために、代々引き継がれています。部長が1年ごとに交代しても、部の運営はぶれることなく、進められています。それは「東新部の憲法」とも言える「東新部運営マニュアル」があるからです。時代の変化に対応するために、何度も改訂を繰り返してきました。これは、東新部のホームページに掲載されております。部役員に就任したら「熟読」が求められています。今期も深尾部長をサポートしていきたいと思っています。

「アフターコロナのメネット会はどうなる？」

メネット連絡員 菅谷 一江 (東京)



東新部のメネット連絡員として5年目に突入した東京クラブの菅谷一江です。昨年度末に東京クラブのメネット会が解散し、東新部でメネット会のあるクラブは無くなりました。

しかし深尾部長から東新部の会長会を立ち上げて東新部一丸となって様々な課題に取り組む決意が示されました。そこにメネットとワイズウィメンによる交流会を組織してメネット活動を楽しむ新年度になる予定です。東日本区メネット会の一員としては甲府21クラブの松村会長を支え、メネットの集いやメネットアワーの開催、また国内外プロジェクトのための献金を集め実施していきたいと思っています。今年度もよろしくお願いします。

「東新部のエクステンション」

エクステンション委員長

松香 光夫 (東京町田コスモス)



前期のエクステンション委員長(太田勝人ワイズ)の熱意を汲んで直前部長として「東新部のエクステンション」を活動のスローガンとして掲げさせていただいた。

新しいクラブの創設を目指しているが、「東新部」に欠けている新潟地域にターゲットを絞ってきた。今後も歴史をたどり、人脈を辿って、部長としての成果を達成したいものと考えて、エクステンション委員長に手を挙げたしだいである。

スローガンにユネスコの「SDGs」を借用して、新しい活動にも取り組めるように考えた。クラブの皆さんにも大いに知恵を発揮してほしいと願っている。

「ワイズと YMCA をつなげる」

部担当主事 小野 実 (東京多摩みなみ)



小野実 (おのまこと) と申します。
東京多摩みなみワイズメンズクラブ
は、2017年のチャーターの時から担
当させていただいておりますが、「ワ
イズメンズクラブと YMCA をつなげ
る」という大切な役割を十分に担え

ておらず、メンバーのみなさんに支えられながら5年
が経ちました。今年度は部の担当主事ということで、
さらなるご迷惑をおかけしないように努めたいと思
います。普段は国立市にあります東京 YMCA 医療福祉
専門学校に勤務しております。

専門学校というと、「大学全入時代に、18歳人口減少
で存続が危ぶまれる事業」と思われるかもしれませんが。
一方で、この介護福祉・リハビリテーション分野の担
い手が現れないということは、未来の高齢者の生活を
脅かすことにもなります。事業存続ではなく、日本の
未来の担い手を育成する専門学校として、皆様にもご
理解とご協力をお願いいたします。

2022-2023 年度 東新部役員・クラブ役員

役職	所属クラブ	氏名
部長	東京多摩みなみ	深尾香子
次期部長	東京むかで	今井武彦
直前部長	東京町田コスモス	松香光夫
書記	東京多摩みなみ	伊藤幾夫
会計	東京多摩みなみ	綿引康司
CS・Y事業主査	東京町田コスモス	今村路加
会員増強事業主査	東京	加藤義孝
国際・交流事業主査	東京町田スマイリング	為我井輝忠
ユース事業主査	東京町田スマイリング	城田教寛
部選出代議員	東京町田コスモス	松香光夫
部大会実行委員長	東京	加藤義孝
部ヒストリアン	東京むかで	伊丹一之
部ウェブマスター	東京	長澤山泰

メネット連絡員	東京	菅谷一江
部 LT 委員長	東京多摩みなみ	伊藤幾夫
エクステンション委員長	東京町田コスモス	松香光夫
部監事	東京	佐藤茂美
部監事	東京世田谷	小川圭一
部担当主事	東京多摩みなみ	小野 実
会長	東京	進藤重光
書記		加藤義孝
会計		迫川由和
担当主事		池田麻梨子
会長	東京むかで	今井武彦
書記		伊丹一之
会計		福島和州太郎
担当主事		由井卓哉
会長	東京世田谷	小川圭一
書記		三浦功雄
会計		小原武夫
担当主事		江尻明子
会長	東京町田コスモス	谷治英俊
書記		権藤徳彦
会計		富樫紀代美
担当主事		古市 健
会長	東京センテニアル	徐鍾煥
書記		田附和久
会計		徐鍾煥(代行)
担当主事		田附和久
会長	東京多摩みなみ	伊藤幾夫
書記		田中博之
会計		綿引康司
担当主事		小野 実
会長	東京町田スマイリング	為我井輝忠
書記		尾張日出夫
会計		城田教寛
担当主事		諏訪治邦

クラブ会長主題・活動メッセージ

「敬愛と奉仕の心を新たに」

“Renewing the Mind of Respect and Service”



東京クラブ会長 進藤 重光

例会に招いた時のユースの言葉で、とても印象に残っている一言があります。ゲストとしての感想を求められたその青年は、「自分たちを応援してくれる、こんな大人たちもいるんだと思いました」と語ってくれたのです。考えてみれば、ビジネス上のインサイダー的な要素や損得も関係なく、無償奉仕を当然のことに感じ、誰かを助けたり、お互いに助け合ったりするような伝統ある世界的な組織が長年続いてきたのは、確かに稀有なことなのかもしれません。厳しい格差社会のこの時代のただ中で、創立者 P.W.アレキサンダーに倣って互いを尊敬することができるワイズが、「Y (MCA) の大人たち」という意味であることを思い起こし、ご一緒に喜びをもって歩んで参りたいと思います。

「折が良くても、悪くても励もう！」

一淡々と種をまき続けよう

東京むかでクラブ会長 今井 武彦



前期は、コロナ禍とメンバーの方々の諸事情により、対外的に十分なクラブ活動ができなかった。例会も Zoom にて開催が主流だったが、4 月以降は、東陽町センターでの食事付例会を再開できた。Zoom 開催では、功労会員が例会出席出来て、新しい例会方式が確立できた。

具体的な事業計画としては、

- ① 野尻学荘への支援活動
- ② ランドセルギフト運動の推進
- ③ DBC 神戸ポートクラブ・石巻広域クラブとの交流
- ④ シニアキャンプの復活検討

なお、事業活動を行うには、その時出来る人が、出来るときに参加し、支え合いながら活動を継続させたい。また、他のクラブとの協同活動を重視していきたい。

「心を尽くして YMCA のために」

東京世田谷クラブ会長 小川 圭一



まずは YMCA を応援しよう。例会では多くの YMCA スタッフの苦労話を聞くことを柱にしたい。また一方で地域活動を YMCA につなぐ努力も出来ないか。

出来る人が、出来る時に、出来る事を。

YMCA 保育園ねがいに対するガーデニングサポートは喜ばれている。また、Liby を応援する。

YMCA すずらん会（経堂）は、地域社協が応援して再開を狙っている。下北沢すずらん会は、下北沢音楽祭と繋げてオンライン配信を行う。

深尾部長のリーダーシップに期待し、国際的な交流奉仕団体の活動を楽しみたい。

「初めにかえって、地域の声に

耳を聞こう」

東京町田コスモスクラブ会長 谷治 英俊



ワイズを更に楽しみ Y s 運動を活性化して 今日から始まる私たちの未来

問題意識を持った新地域の新人入会者を増やして特に若者メンバー中心として、さらにワイズを愛する多くの YMCA 会員が集い、ワイズの発展に何が出来るか、地域の他の社会奉仕団体と協働して、地域の問題を出し合い、活発な議論をしましょう。

会員増強、会員活動活性化は広報を考えましょう

「二歩後退 三歩前進 安全運営」

東京センテニアルクラブ会長 徐 鐘煥



前年度の活動が厳しい状況で、前向きのスローガンを記すことは「たやすい」ことですが、厳しい目標が果たしてワイズメンの精神にふさわしいのか？

責任を痛感し、厳しいと思っております。でも、「一步」を大事に、試練に打ち勝ちたいと願っております。皆様の助言をお願いします。

「みんなで喜びをシェア！」

東京多摩みなみクラブ会長 伊藤 幾夫



他クラブのワイズへも呼びかけて開催した「プランター野菜栽培講座」(Zoom)は3回を数え、毎回20名超の受講者を得て盛況でした。今期は第4回プランター講座として、一般向けに「野菜講座」の展開を計画しています。

また、東京町田コスモスクラブ、東京町田スマイリングクラブとの「合同例会」を今年度も継続したいと思います。さらに、今年度は当クラブから東新部部長として深尾香子さんを送り出しました。深尾さんは部長主題として「A11 東新部」を強調しています。クラブとして、深尾部長を全面的にバックアップしていきたいと思っています。町田コスモスクラブ、町田スマイリングクラブとの協働で得られたメリットを、今年度はさらに東新部7クラブにまで広げていけたらと考えています。ワイズの喜びを共にシェアし合いたいと考えています。それが、新たな仲間を増やすことに繋がっていくのではないかと考えています。

「感謝、信頼、地固め、そして成長！」

東京町田スマイリングクラブ会長
為我井 輝忠



会が発足して3年目を迎えました。しかし、コロナウイルスの蔓延で、活動らしきものは何ら出来ず、Zoomによるオンラン会議だけでした。今後は実際に同一会場で一堂に面しての例会を目指したいです。

同時に活動の幅を広げ、町田地域のボランティアの輪に加わり、出来ることに参加していきたいと考えています。

昨年は多摩地区3つのクラブ(多摩みなみ、町田コスモスそして当会)が合同例会を各月に持ち回りで開催し、大変有益でした。今後も継続して進めていくつもりです。会員の増強を含めてやるべきことが多いのが今年度の活動ですが、各位の協力を得て、進めていく所存です。

各クラブの例会日

クラブ	開催日	会場
東京	第2火曜	東陽町センター
東京むかで	第3火曜	東陽町センター
東京世田谷	第3金曜	南センター
東京町田コスモス	第1月曜	玉川学園コミュニティセンター
東京センテニアル	第2木曜	在日本韓国韓国YMCA アジア青少年センター
東京多摩みなみ	第1火曜	ベルブ永山
東京町田スマイリング	第3水曜	町田中央公民館

(注意) 変更の場合もありますので、訪問の際は、必ず、当該クラブにご確認をお願いします。

「 Y 友（ワイとも）広場 」

－ WEB Innovation Forum －

ご案内

目的 高齢化、IT化の進む新時代におけるワイズの持続的発展を見据えたとき、私たちはどうあるべきかを、みんなでぎっくばらんに語り合しましょう。

概要 クラブの枠を超えて有志が定期的にWEB上で集まり、語り合うことによって、相互啓発、情報共有、懇親等を計りましょう。時には、SDGsの協議などもしましょう。飲食を自由にしながら気楽に！

対象 ワイズの会員（休会・退会者、共感を持つ未入会者を含む）で新時代のワイズの Innovation に前向きの人には是非参加してほしい。

内容の例

- ・ 定期的WEB懇親会（話し合う楽しみ 発想の転換活性化）
- ・ ワイズのSDGsについてのこれまでの枠を超えた話し合い
- ・ ZOOM、フェイスブックその他WEB活用方法の勉強会
- ・ メンバーからの情報発信（フェイスブック投稿の紹介等）
- ・ 新時代についての相互啓発（ユーチューブの提供する講演、音楽の共同視聴等）

開催 毎月1回 原則として第2木曜日19:00～20:30 ZOOMによる集合
(東日本区、東新部のイベントと重なる時は第2金曜日とする)

会員募集 東新部の有志をベースにフェイスブック、ワイズドットコム、または個別勧誘で募集する。

オープン 2022年7月13日(水)19:00～20:30

(7/14(木)の予定でしたが、変更します)

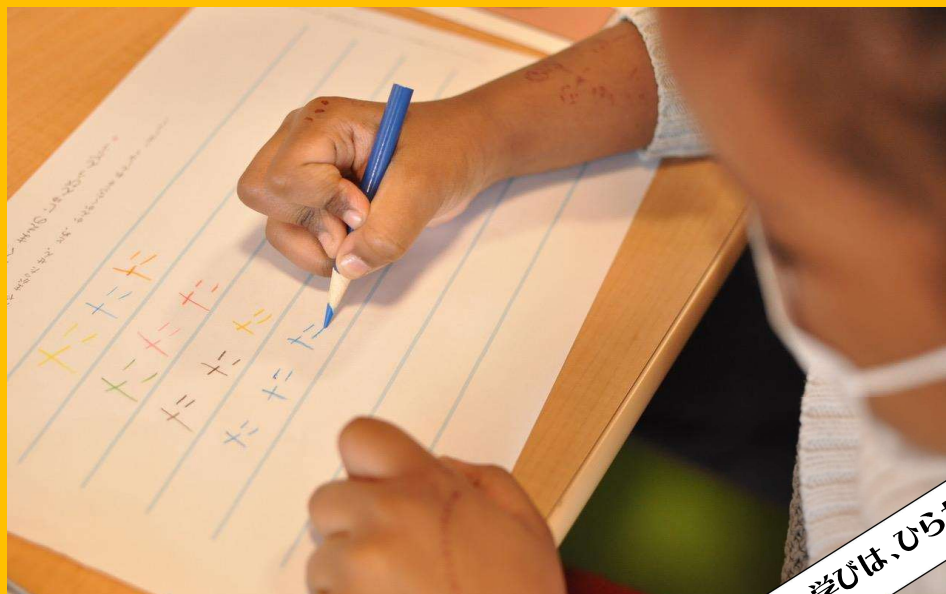
参加 ZoomURL

<https://zoom.us/j/4745332601?pwd=Q2VqQ0Vqc056WlVFU3JnWWVzemlTUT09>

発起人 伊藤幾夫、伊丹一之、太田勝人、櫻井浩行、松田俊彦、江口耕一郎、加藤義孝、長澤弘

第26回東新部部大会

初心に還って、ユースの声に耳を傾けよう！



最初の学びは、ひらがなから…



発題者プロフィール

山田拓路(やまだ・たくじ)

NPO 法人メタノイア代表理事。

2008年に関西学院大学法学部卒業後、日本聖公会中部教区に就職し、主に愛知県・岐阜県で暮らすフィリピンルーツの子どもの教育・保育に従事。

カナダへの留学等を経て、2021年4月に東京都でNPO法人メタノイアを設立し代表理事に就任。

行政書士(入管申請取次/特定行政書士)・日本語教師・保育士。子どもの日本語教育研究会広報委員。

日時:2022年10月8日(土)

13:30~16:30(受付13:00~)

於:在日本韓国YMCA
青少年センター
9F 国際ホール

第1部 式典

部長表彰、
CS活動表彰他

第2部 研修

YMCA・ユース・ワイズのパートナーシップがあるからこそ出来ること

★発題

海外にルーツを持つ「子どもたち」への支援について

NPO 法人メタノイア代表 山田拓路氏

海外にルーツを持つ「親たち・子どもたち」への支援について

在日本韓国YMCA 田附和久氏(仮)

-----小休憩-----

★グループ・ディスカッション

テーマ 1.言葉の壁、2.心の壁、3.継承教育(母国への誇りを育む)

第3部 懇親会 & ゆかりの国の魅力紹介(?)

or 伝統芸能の鑑賞(?)

ルールを守って



有意義な一日を!!

参加申込先 加藤義孝 ktystk4188@yahoo.co.jp 東新部大会実行委員長/東京クラブ

主催 一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区東新部 (深尾香子 2022-2023年度部長/東京多摩みなみ)